

議員派遣結果報告書

1	名 称	令和6年度市町村議会議員研修〔3日間コース〕 新人議員のための地方自治の基本
2	場 所	滋賀県大津市 全国市町村国際文化研究所（J I A M）
3	期 間	令和6年5月8日（水）から10日（金）までの3日間
4	内 容 ・ 成 果	<講義内容> 1. 「地方自治制度の基本について」 野田 遊氏（同志社大学政策学部） 2. 「地方議会制度について」 本橋 謙治氏（全国市議会議長会） 3. 「地方議会と自治体財政」 小西 敦氏（静岡県立大学経営情報学部） 4. 「地方議会と政策」【演習】 宍戸 邦久（新潟大学経済化学部） 5. 「これからの地方議員に期待されていること」 辻 陽氏（近畿大学法学部） <成果> 1. 地方自治制度の基本として、行財政改革・市町村合併・広域連携・組織編成・ガバナンス・広報など多岐にわたり、講義いただきました。住民が参加し、意見やニーズを反映させるなどコミュニケーションを強化して、生活水準や福祉の向上を目指すことが基本であると感じました。 2. 地方議会制度については、議会、議員のあり方、行政執行部との役割や権限など、法的な部分も含めて詳しく講義いただきました。質問や質疑などの発言にはしっかりと責任を持つことの重要性を改めて学びました。 3. 自治体財政について、予算案のチェックポイントや過去のデータの見方、類似団体との比較などいろんな目線を持つことが大事だと学びました。それぞれの自治体に特徴や個性があり、将来を見据えてきちんとチェックしていきたいと思えます。 4. 演習では他の市町村議員とグループになり、実際の自治体での議会発議による条例を分析しました。目的や必要性、

		有効性などを分析すると、それぞれ独特の考えが感じられて、大変興味深いワークショップでした。 5. これからの地方議員に期待されることでは、政務活動費や議員報酬も含めて、なり手不足の課題と多様性の確保や、議会・議員そのものの役割についてなど指摘がありました。長期的な国や地方の問題について、財政や法的な知識に精通する必要性を強く感じました。 全体を通して、講義の学びはもちろん、他の市町村議員の方々と交流出来たことは、とても貴重な体験でした。基本を学びつつ、多様な目線と長期的な目線を持って、自分の考えを積み上げていきたいと思います。
--	--	---

提出期限 令和6年5月22日（水）まで